

災害時多言語サポートブラッシュアップ研修 参加者アンケート集計

日時：平成31年1月27日（日）14：00～16：00

会場：アイーナ 5階 会議室501

ファシリテーター： 岩手大学客員教授 越野 修三氏

事例紹介者： （公財）札幌国際プラザ 大高 紡希氏

参加者数	回答数
37	33

I. 「災害時の対応を考える」の感想をお聞かせください。

項目	回答数	比率
とてもよかった	20	60.6%
よかった	12	36.4%
あまりよくなかった	1	3.0%
よくなかった	0	0.0%
計	33	100%

理由・感想

(とてもよかった)

- ・ 実際の北海道のとりくみが聞けて良かった。
- ・ ワークショップによりサポーターの役割が具体的にイメージできるようになりました。
- ・ イメージアップにつなげることができた。
- ・ グループの方々が積極的に意見を出してくれた。大高さんの体験にリアリティがあり、想像しやすかった。
- ・ 北海道の9/6の話を知ることができ、何が課題になっているか少し理解できた。
- ・ 災害時は日本人の対応だけでも大変なので、外国人に対してはとても後回しになってしまうと改めて気づかされたから、自分ができることから始めていきたい。
- ・ 普段、いかに災害を想定して行動していないか、自分の危機感のなさを痛感し、研修の必要性、いかに大事であるかを確認することができた。
- ・ 北海道地震の状況を聞くことができた。
- ・ 北海道の具体的な情報が得られてよかった（ニュースだけでは知りえないこと）。自身で何ができるか考えると、日ごろもっと情報を集めていなければと思いました。ありがとうございました。
- ・ 初めて参加しましたが、とても充実した研修でした。実践訓練が楽しみです。
- ・ 大高様のお話はとても現実味のあるお話でしたので、勉強になりました。自分が何をすべきかの意識が高まりました。
- ・ 札幌の対応状況をお聞きして、初動についてやその他の状況についてわかった。ワークショップは具体的なイメージできたこと。
- ・ 北海道胆振東部地震のお話、具体的どのように進められたかわかりありがたかった。班活動、皆さんの想像力に感心。
- ・ 3.11を経験していても月日が経つと、次第に怖さが薄れていくものだなと思っていました。改めて北海道地震の話聞いて、また、支援対策を考えなければならぬと痛感しました。
- ・ 実際の北海道での事例を知ることができ、とても参考になりました。ケーススタディは少し時間が足りませんでしたが、短期間でグループで話し合うことができ、いろいろな考え方を聞くことができ参考になりました。
- ・ 北海道胆振東部地震での対応について、札幌国際プラザの大高紡希氏から話を直接聞くことができたこと。
- ・ 北海道地震の事例が具体的で、ボランティア対応のイメージがしやすいと思いました。
- ・ 同級生と災害時について話したことがあるが、それ以上に様々なことが想定されることが分かった。北海道の地震についてのお話も聞くことができたので良かった。
- ・ 北海道胆振東部地震の様子、その対応などを詳しく聞くことができてよかった。実際に災害が起こった時に何をすべきなのか、課題は何なのか考えることができてよかった。

- ・ 災害時のサポーターというものの必要性を感じることができた。災害時、電話もインターネットも使えないときにどうすればよいのか課題を認識することができた。

(よかった)

- ・ 開催時間、日程（冬季の日曜午後）を検討してほしいです。できれば道路状況のよい春～秋に開催してもらえると参加しやすいです。
- ・ 実際にどういった行動が必要なのかがわかった。
- ・ 大高さんの話は楽しみにしていたので、今までの災害対応では観光客という視点がなかったので参考になった。
- ・ 震災を経験された方の貴重な体験談を聞くことができ、勉強になった。ワークショップの時間はあと30分ぐらい長ければもう少しよい意見が出たり、議論が深まったように思う。
- ・ 札幌の具体的な事例をうかがうことができとても参考になった。
- ・ 先の北海道での地震での体験談について非常に参考になりました。
- ・ 皆でやる気がでたと思った
- ・ 災害時多言語サポート対応の実践報告を聴講できたこと。
- ・ - 札幌市での外国人対応の経験を伺えてよかった。 - 実務で活かせるかもしれないアイデアを得られた。
- ・ - WSで出された課題について、サポーターと協会とで考える時間がなかったのが残念。
- ・ 災害の発生した時間によって、初動にて行うことが違う等を改めて確認できました。東北大震災時は、平日の午後で通勤ラッシュ等ではなかった事等確認できました。
- ・ とても貴重な体験談等を聞いて、サポーターとして心得ておかなければならないことを思っていた以上に知ることができを習えたので、その点では参加してよかったなと思いました。これまでの講座の延長のような形で、さらに英語での対応ののかとと思っていたので、英語を使う部分がなかったのは、少々残念でした。

(あまりよくなかった)

- ・ 時間が短いので、演習はあらかじめ細かい設定をしておけば良かった。

II 当研修会や岩手県国際交流協会に対するご意見・ご感想などありましたらご記入ください

- ・ 自分ができることや役立つことがあれば、日常の中でボランティアします。
- ・ 実践訓練を回数多くできればと思います。
- ・ いつもお世話になっております。今後もよろしく願います。
- ・ 忘れないように毎年こういう機会を設けていただきありがとうございます。
- ・ サポーター研修を続けて開催していただきたいです。（過去2回受講させていただきとても勉強になりました。）
また、今回のお話でもありましたように、市町村との連携などがとれるよう、検討をお願いします。たとえば、連絡体制の作成（携帯TELやSNSでの連絡）（個人情報の取り扱いが難しいかもしれませんが、登録制などの検討） 周辺市町村での開催の検討もぜひご検討ください。
- ・ ボランティアとしては、実際どの程度までの活動を求められるのか、協会とボランティアの意識のすり合わせが必要と思います。
- ・ 避難者名簿には、話せる言語（外国人の場合）？日本人も？書く欄を作るように市の方に頼んでおくといいのですね。
- ・ どうもありがとうございました。2月も楽しみにしています。
- ・ 今後こうした活動を継続し、サポーターの意識醸成を図ってほしい。
- ・ 災害時の外国人観光客への対応について、県内でも関心が高まっていると思います。またこのような研修を企画していただけたらうれしいです。
- ・ 生々しいお話を共により状況がわかったこと
- ・ 研修、訓練の機会を！ 特に災害時対応に関する事を外国人居住者へ！
- ・ 今後も研修等よろしく願います